

○10月1日(日)開催

第2999回例会 兵庫県山岳連盟同調

「第28回藤木祭記念ハイキング」を引率して
岳連・普及委員会委員長 吉野 宏

大正13年6月、阪神間の登山界における主流らによって創立されたRCC(ロッククライミングクラブ)。その中心的人物が藤木九三氏であったということは皆さんもそれとなく知るところであろう。雪彦山や道場などの岩場の開拓を成し、岩登り技術の基礎づくりをされ、日本近代登山の先駆者と謳われている氏は、又、多くの登山家を育てられ、登山に関する行事や後援、海外登山隊の援助など、登山界の発展に寄与されて来られたが、昭和45年12月11日、腎不全により生涯を閉じられた。その功績と人柄を慕い、ホームグラウンドでもあった芦屋ロックガーデンの入口・高座の滝前に集結した多くの山男達で立ち上げられたのが、氏を偲ぶ会「藤木祭」である。



ロックガーデン・高座滝にある藤木九三氏のレリーフ

さて、13時より開催される藤木祭本番行事に先だって行っているのが「藤木祭記念ハイキング」であり、毎年大阪府岳連と交互で案内役を行っているが、今年は兵庫県が当番年である為に当方が企画したコースを案内することになった。

阪急芦屋川駅下車・芦屋川左岸山側9時集合。コースは・・・山手中学校～会下山遺跡～蛙岩～保久良山コース出合～風吹岩～横池(昼食予定)～～高座谷左岸～高座の滝～大谷茶屋前(藤木祭会場)・・・とした。

開催日が下期スタートの10月1日であったためか、諸行事が重なったのであろう、ここ数年来と比べると参加者が少ない様に感じた。ヒヨコのメンバーも布引8名、保久良7名、旗振3名のみで、高取、再度、一王山、唐櫃は参加者0名。参加者の半数以上を占めてきたヒヨコが半数にも満たなかったのは少し寂しい気がした。



国史跡・会下山遺跡についての解りやすい説明看板

登山者の多いロックガーデンメインルートを避け、静かな「会下山(えげのやま)遺跡」を目指す。何時もの会下山遺跡コースは道標に従って進むのだが、市立山手中学校が建替え工事を行っている為に少しコースを変えて住宅街を上手くすり抜け登山口へ誘導することが出来た。ここで小休止を取り、登山道へ。クヌギやアベマキのドングリが沢山落ちた道を10分程登ると、会下山遺跡C地区竪穴住居跡前に飛び出す。この周辺が生活



復元されているカヤぶき高床倉庫

集合地帯であるのが良く判り、興味深い。
ここで「会下山遺跡」に触れておこう。



この遺跡は昭和 29 年（1954 年）にこの山の麓にある芦屋市立山手中学校の生徒達が植物実習園を作る為に山道を切り開いていたところ、多数の弥生土器の破片に気付き、発見されたのです。昭和 31 年からは芦屋市教育委員会が 6 年間に及び発掘調査を実施し、**竪穴住居跡**や**祭場跡**などさまざまな生活の痕跡を見つけました。その結果**会下山遺跡**は、山の頂きから山裾まで、**山全体に広がる大規模な集落**であることが解ったのです。そして、弥生時代中期後半から後期前半（紀元前 2 世紀～紀元 1 世紀）の間、300 年近くに渡って長期間営まれていた集落であることも明らかになりました。又、この遺跡からは中国大陸で作られた**青銅製漢式三翼鍬**が採集されており、当時、大変貴重であった**鉄製品**も多数出土しており、積極的に交易を行っていたことがわかります。

～芦屋市教育委員会資料より抜粋～



弥生時代に想いを馳せ、この高地性集落跡を、ゆっくりと見学登山をされるのも楽しいでしょう。



魚屋道の出合にある「蛙岩」にて

遺跡群の中で一番高い場所（会下山最高峰 201.2M）は、みはらしが最高！弥生時代は祭場であったそう。・・・そこから急登を登りきると魚屋道の出合である「蛙岩」に出た。



記念写真を撮る兵庫と大阪の 2 カメラマン

ここからはお馴染みの魚屋道コース。登山日和ではあるが、このコースは登山者が少なく静かな山歩きが楽しめる。保久良山コースとの出合に出ると風吹岩まではほんの少しである。風吹岩はロックガーデンメインルートの中央綾を登って来たハイカーでごったがえしていた。この分だと横池もいっぱいだろうな・・・と思いながらも昼食場所としては一番くつろげる場所なので先を急いだ。



多勢のハイカーが昼食タイムでした！

総勢 38 名の参加者の足並みは良好で、余裕の時間で横池の昼食タイムとなった。

下りは万物相へ下る場所にある標識を左へ折れて、奥高座谷ルート of 左岸を下った。途中の堰堤広場でイノシシに餌をやっているハイカーがいたが、困ったものである！・・



高座の滝の上の河原で解散式。お疲れさまでした！

最後の堰堤は高座の滝のすぐ上。ゴールの会場は狭いので、この堰堤広場で記念ハイキングの解散とし、挨拶。藤木祭見物に残る方、下山される方とそれぞれ自由行動とした。時に 12 時 50 分。時間通りのゴールであった。

天 候 晴れ

担 当 兵庫県山岳連盟・普及委員会

ヒヨコ登山会例会・自然保護委員会

参加者 38 名（内当会員 18 名）